

岩手県磐井川上流域

[磐井川と産女川の合流地点より上流・湯尻沢・一ツ石沢・桂沢・鬼頭沢]



地形地質 磐井川上流域は栗駒山の北東側山麓斜面で、磐井川の源流部を含みます。地質は砂岩・泥岩互層の上に栗駒山の火山噴出物（溶岩・凝灰角礫岩）が分布しているのが特徴です。

被災状況 磐井川上流域では、磐井川源流・一ツ石沢および東桂沢で大規模な山腹崩壊が集中しています。また河道閉塞が4箇所が発生しました。山腹崩壊箇所は644箇所と宮城県の一迫川上流域に次いで多発した流域となっています。不安定土砂発生量は約813万m³です。なお、民有林直轄治山事業の実施区域では、治山事業が効果を発揮し、地震による被害がほとんどみられないことが確認されました(22p、右上略図参照)。



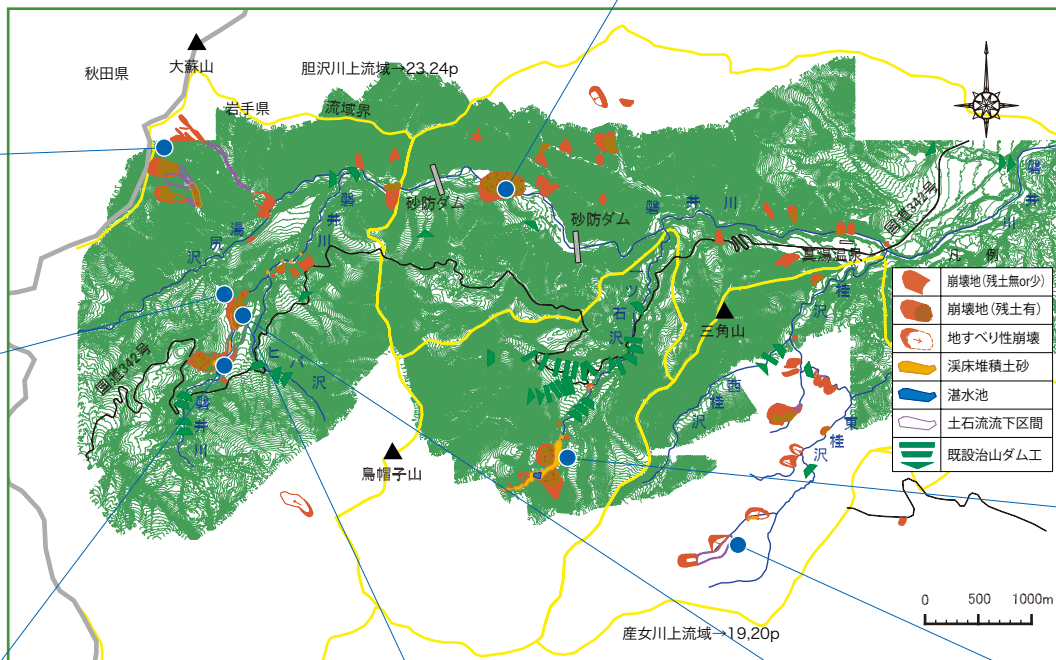
磐井川 大規模な山腹崩壊と河道閉塞状況



磐井川地区民有林直轄治山事業区域の事業効果 (略図) 事業区域外に山腹崩壊が集中



湯尻沢 大蘇山付近の山腹崩壊状況



※荒廃現況図 代表的な区域と山腹崩壊地を掲載



磐井川(奥は湯尻沢) 源流部の山肌に残る無数の爪痕



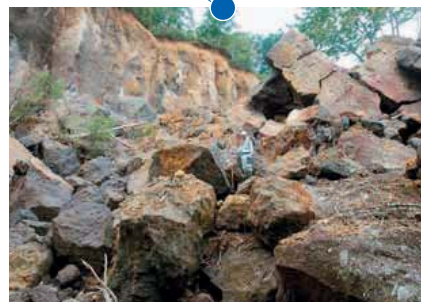
一ツ石沢上流 山腹崩壊による河道閉塞状況



磐井川 国道直下の大規模崩壊により国道342号が被災



磐井川 大規模な山腹崩壊



磐井川 山腹崩壊により崩れ落ちて溪流を埋めた巨石群



東桂沢上流 山腹崩壊状況